

家計と地域を助ける

「生活応援商品券」事業を実現

新規
125億円

コロナ禍で厳しさを増す都民の家計を応援し、低迷する都内の消費も喚起するため、市区町村にも協力をして頂き、商品券の発行を都が財政的に支援する事業を小池知事に強く要望。このほど購入額1万円で1万3千円分(プレミアム率30%)を地域で使用できる「生活応援商品券」の発行支援が決定しました。コロナ禍を

考慮し、デジタル商品券を導入しますが、デジタルでは活用が困難な地域のため、市区町村と事前協議のうえ、デジタル実施の占める割合が1/2を超えることを条件に、紙の商品券との併用も可能にします(紙の場合のプレミアム率は25%)。八王子市の実施が決まれば、八王子市内での利用が可能です。



子ども一人10万円分の 出産応援事業を創設

新規
126億円

コロナ禍における都独自の家計支援を小池知事に要望。子ども一人あたり10万円分の子育て支援サービスや育児用品等が提供されることになりました。提供されるものは、訪問型の家事・育児支援サービスのほか、ミルクや離乳食などの食料品、肌着などの衣料品、おむつなど消耗品、ベビーカーなど育児用品等、200点以上になります。当初、令和3年4月1日以降に出生した子どもを持つ家庭が対象でしたが、都議会公明党の訴えで令和3年1月1日以降に対象を拡大。一定期間10万円分の範囲内で、複数回申込みできる仕組みが予定されています。

医療従事者の 特殊勤務手当を 大幅に増額

新規
50億円

～1日当たり3千円から5千円に～

都議会公明党は、コロナウイルス感染症患者等の診察や治療などに携わり、奮闘されている医療従事者の特殊勤務手当を引き上げるよう、小池知事に繰り返し要望。このほど、民間医療機関等及び都立・公社病院に勤務している医療従事者を対象に、現在の1日当たり3千円から5千円に増額することが決定。令和3年1月8日にさかのぼって適用になります。



(切り取り線は印刷されません)

令和3年度 都予算案が 発表

令和3年度の東京都の当初予算案15兆1,579億円に、コロナ対策として新たに2,669億円の補正予算案が追加されました。これらの予算案に都議会公明党の主張が数多く盛り込まれています。

新風 NEW BREEZE 2021

公明党
八王子
総支部
ニュース
VOL.53

春号



公明党八王子総支部長 東京都議会議員

東村くにひろ

都議会公明党ニュース



新規
4億円

肺炎球菌ワクチン接種で 高齢者の自己負担を軽減

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種は、区市町村が自己負担を軽減しているものの、接種率が3割程度にとどまっています。これを踏まえ、都議会公明党は、都として補助を検討するよう提案。このたび、自己負担分を軽減するため都が2,500円を補助することが決定しました。



新規
2億円

高齢者等のスマホ活用支援を 推進 ~デジタルデバイドの解消へ~

デジタル機器に不慣れな高齢者がスマートフォン等を活用できるよう、都議会公明党は支援策を提案。都は通信事業者等と連携し、スマホ教室や出張相談会の開催を決定。地域の底力発展事業助成なども活用し、インターネットやパソコン等を利用できない高齢者等のデジタルデバイド(情報格差等)の解消に取り組む町会・自治会を支援します。



新規
130億円

都認可外の通信制高校の 授業料実質無償化を実現

これまで、都認可以外の通信制高校は、多くの都民が通っていないながら、都独自の特別奨学金の対象から外されていました。都議会公明党は、対象に加えるよう繰り返し要望。このたび、本年4月から都認可の通信制高校同様、都に在住する生徒の授業料の実質無償化が実現となり、教育機会の格差を解消することができました。

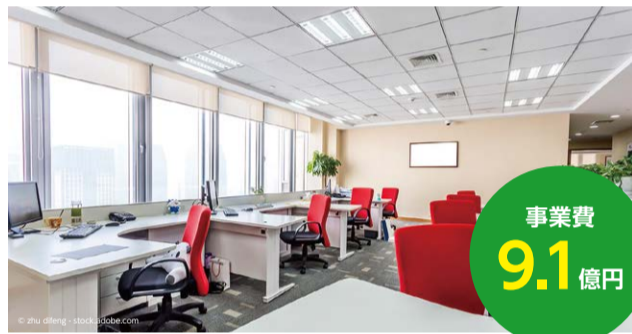
市議会公明党ニュース



事業費
1.46億円

令和2年6月以降に生まれた 子どもに市が5万円支給

八王子市は、昨年6月1日以降に生まれた子ども(令和2年12月31日出生まで)の家庭に対し、一人5万円を給付します。同学年にも関わらず特別定額給付金の対象外になった子どもを養育する家庭に対する支援策となります。公明党が給付の必要性を訴え続けて実現。コロナ対策の一環で、プリペイドカードが給付されます。(補正予算案・上程時点)



事業費
9.1億円

厳しい経営環境にある 事業者を継続的に支援

コロナ禍の長期化により、市内事業者が厳しい状況におかれていることから、八王子市は事業継続緊急支援金の支給を実施します。対象は全業種で、売上が3割以上減少した事業者、売上高に応じて20万円~50万円を支給します。昨年、同支援金を申請できなかった事業者の声が公明党に寄せられ、市に強く働きかける中、再び補正予算に盛り込まれました。

↓切り取ってご活用いただけます↓



事業費
3.7億円

学校体育館へ エアコン導入が進展

八王子市は、都議会公明党の働きかけで実現した、東京都の補助制度を活用し、令和3年度に市内6校の学校体育館、2校の中学校武道場にエアコンを設置します。令和元年10月の台風第19号の際、体育館へ避難した住民からエアコンの必要性が多数寄せられました。良好な教育環境を保つ上でも暑さ対策が急務です。今後も学校体育館へのエアコン設置を推進します。

新型コロナ 知っ得情報★こんな時どうする!?

令和3年2月24日現在

※情報が更新された場合、総支部HP等でお知らせします

【新型コロナワクチン接種コールセンター】 0120-383-183 (毎日 9時~17時) 英語・中国語・韓国語にも対応		【東京都発熱相談センター】 03-5320-4592 (毎日 24時間)		東京都 新型コロナウィルス 支援情報ナビ
個人支援	離職や廃業などで 家賃が払えない	住居確保給付金	家賃相当額を自治体から家主へ支給 支給期間：原則3ヶ月 例) 2人世帯 6万4千円 が上限	【生活自立支援課】 042-620-7408 (平日 9時~12時、13時~16時)
	コロナの影響で売上が 3割以上減った	事業継続緊急支援金 <small>※令和3年3月中に開始予定</small>	<small>八王子市の政策</small> 厳しい経営環境となった全業種の事業者を支援 (法人：年間売上1億円以下)(個人：年間売上4,000万円以下) 法人： 20万円~50万円 を支給 個人： 20万円 を支給	【産業政策課】 042-620-7252 (平日 9時~17時) <small>※専用コールセンター準備中</small>
事業主支援	営業時間の 短縮に協力した	感染拡大防止協力金	<small>東京都の政策</small> 飲食店舗の方に協力金を支給 令和3年 1月8日~2月7日実施分：1店舗あたり 186万円(最大) 令和3年 2月8日~3月7日実施分：1店舗あたり 168万円	
	子どもが生まれた	出産応援事業	<small>東京都の政策</small> 子育て支援サービスや育児用品などを提供 令和3年1月1日~令和5年3月31日に生まれた子ども1人あたり 10万円分	
子育て支援		乳児家庭支援金	<small>八王子市の政策</small> 1歳未満の子どもを養育する家庭にプリペイドカードを支給 令和2年6月1日~令和2年12月31日に生まれた子ども1人あたり 5万円分	
	コロナの影響で 里帰り出産ができない	育児対策支援	<small>八王子市の政策</small> 民間の育児支援サービスの利用料を補助 1世帯につき月4回まで 1万円/回	

東村くにひろ★最新情報

政策実績
はコチラ

友達登録
をぜひ!

ホームページ



LINE



日々の活動
を確認

twitter



動画で
チェック

youtube

